

伊那のピアニスト平沢さん

ウクライナ支援へ演奏会

かつての拠点・ポーランド通じ



リサイタルへの思いを語る平沢さん

かつてポーランドの首都ワルシャワを拠点に活動していた伊那市上牧のピアニスト平沢真希さん(55)が8月27日、ロシアの侵攻を受けるウクライナを支援しようと、同市荒井のニシザワいなつせホールでリサイタルを行う。隣国で多くの避難者を受け入れているポーランドの作曲家の曲などを演奏。収益金は経費を除き同国政府へ寄付し、避難者

地元で8月「平和考える機会に」

支援に役立ててもらおう。

平沢さんが11日、市内で記者会見して説明した。同市出身の平沢さんは1993年から2009年まで、ワルシャワを拠点に世界各地を回って演奏。01年にはウクライナ西部のリビウで地元オーケストラと共演し、「音楽や文化のレベルの高さを感じた」と振り返る。ロシアの攻撃で「美しい街並みが破壊され、言葉にならない」と悔しがった。

から着想を得て自ら作った曲も披露する。過去に旧ソ連やドイツの攻撃を受けたポーランドは「自分事と思つて避難者を受け入れている」とみる。曲間では演奏で訪れたフィリピンやポーランドで聞いた戦禍の話も織り交ぜ「戦争と平和について考えるコンサートにした」とする。

リサイタルは午後2時から2時間程度の予定。ポーランドの作曲家ショパン、シマノフスキの作品など10曲以上を演奏する。地元の天竜川や駒ヶ根市の光前寺にある杉の木

平沢さんと親しい県伊那文化会館(伊那市)の北沢理光館長が発案し、市が主催。定員300人で、一般2千円、高校生以下千円。チケットは市生涯学習センター(802・65・78・5801)で購入できる。